



令和2年度 学校だより

西之表市立下西小学校

# せんだん

10月号 令和2年10月20日



## 「声と心と笑顔のエールを！」 ～1人1人がオンリーワン～

校長 中村 一成

秋晴れのもと、創立140周年を記念した運動会を9月27日（日曜日）に開催いたしました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考えながらの運動会となり、午前中だけの開催になったり競技に出た後はすぐに手を洗ったりと、いつもとは違う運動会となりました。また、参観も家族のみとさせていただき、運動会を楽しみにしていた校区の皆様には、大変申し訳ございませんでした。

時間は例年より短くなりましたが、子どもたちは、限られた時間の中で、2学期になってから練習を積み重ねてきた成果を思う存分発揮してくれました。1年生にとっては小学生として初めての運動会。元気よく手を振っての行進や、最後まで力をゆるめず走り抜くかけっこなど、覚えることもいっぱいありましたが、2年生や他のお兄さん、お姉さんたちに教えてもらいながら、立派にできるようになりました。3・4年生の「運動会だよ！全員集合」は、私世代にとっては、ドリフターズの軽快な音楽を聴くだけでいっしょに体が動いてしまいました。5・6年の縄跳びを使った表現、難しい技をこなしながら、息を合わせて跳ぶ姿は圧巻でした。そして、6年生の親子種目、少し照れながらもお父さんに肩車される姿、逆にこんなに成長したよとカー杯お母さんをおんぶする姿、最後の親子によるエール交換と胸を打たれるものがありました。

ある来賓の方が、「応援合戦を見て、鳥肌が立ちました。」と話してくださいました。私も今までいろいろな学校の運動会を観てきましたが、応援団だけではなく、紅白それぞれ1年生から6年生までいっしょになって盛り上がり、このように全員の想いを一つにした応援合戦は初めてでした。これも、紅組団長の福嶋凛夏さん、白組団長の中園心幸さんが、上記の運動会のスローガン「声と心と笑顔で」の通り、練習の時から声がかかるぐらいの大きな声で、団員の想いを感じながら、常に笑顔で団をまとめ上げてくれたおかげです。先頭に立って引っ張った2人、団長を支え盛り上げてくれた応援団、それに応えようと昼休みにまで必死に練習した子どもたち、素晴らしい運動会を演出してくれた子どもたちに感謝するとともに、子どもたちの「やればできる」という可能性を再確認いたしました。このパワーを運動会だけで終わることなく、これからの学校生活の中で生かしていけるよう、職員も一丸となって子どもたちを見守り育てていきたいと思えます。

最後に、立派な緑門を作ってくださいました有志の会の皆様、会場準備から当日の駐車場整理や後片付けまでお手伝いいただいた保護者の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 《11月の行事予定》

- |   |  |
|---|--|
| 1日（日）：地域が育む「かごしまの教育」県民週間（～7日）                   | 14日（土）：土曜授業，集団下校                                   |
| 2日（月）：フリー参観（2日，4～6日）                            | 地域対抗ドッジボール大会                                       |
| 3日（火）： <input checked="" type="checkbox"/> 文化の日 | 15日（日）：街頭補導  |
| 4日（水）：学校関係者評価委員会，P理事会                           | 17日（火）：学校保健委員会・家庭教育学級                              |
| 5日（木）：社会人講話，親子読書会読み聞かせ                          | 23日（月）： <input checked="" type="checkbox"/> 勤労感謝の日 |
| 後期歯科検診（2・4・6年），P文化部会                            | 24日（火）：P役員選考委員会                                    |
| 7日（土）：西之表市戦没者追悼式                                | 26日（木）：「たくましい“かごしまっ子”育成                            |
| 10日（火）：教育相談（11・12・13・18・日）                      | 推進校研究公開  |
| 12日（木）：後期歯科検診（1・3・5年），P文化部会                     |  |

※ 行事については、新型コロナウイルス感染症の状況によって、延期もしくは中止することがあります。その場合はまたお知らせします。

## 教育実習

本校卒業生の平野晴奈さんが、9月23日～10月2日の期間、本校で教育実習を行いました。久しぶりの母校ということで、とても懐かしんでいました。主に6年生に入ったのですが、1年生や3年生の学級にも入り、学んでいました。鹿児島県での教師を目指しているとのことでした。来年度どこかでお目にかかることもあるかもしれませんね。



## からいもの収穫

1・2年生が生活科の学習で育てていたからいものを収穫しました。今年も立派なものをたくさん収穫することができました。子供たちもうれしそうでした。

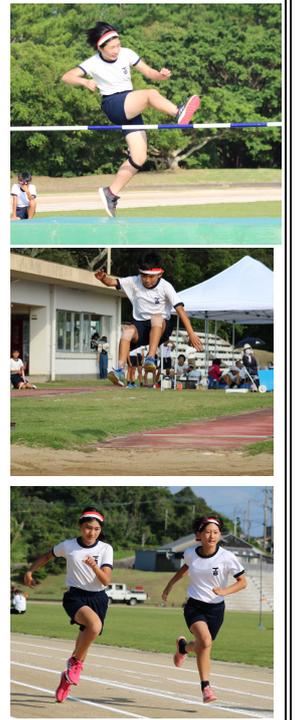
収穫したからいものは、子供たちと調理する予定です。からいものを育てるにあたり、いろいろな方にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



## 下西小学校陸上記録会

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、本校だけの開催となりましたが、子供たちが思いっきり競技してほしいと思い、市営グラウンドで実施しました。当日は、保護者の方もたくさん応援にきていただき、また、陸上記録会に向けて指導していただいた岩坪さんも参加され、まさに本当の陸上記録会のような趣で実施しました。そのせいか、子供たちは皆、いつもより緊張した様子で臨んでいました。

子供たちは自分の記録をなんとか塗り替えようと懸命に走ったり、跳んだりとがんばっていました。新記録まであと少しという子もいました。陸上記録会を通して、5・6年生の子供たちがまた一つ成長したと感じることでした。



## 【創立140周年記念秋季大運動会】

今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、人数制限や時間短縮などの制限を設けての実施でしたが、創立140周年ということもあり、できるだけやれることはやろう、子供たちの頑張りをできるだけ多くの人に見てもらおうという思いで実施しました。いろいろな制限があった中での実施でしたが、充実した運動会ができたのではないかと思います。



6年生が140周年を記念して作成した折り鶴とアマビエの「のれん」は、南日本新聞でも紹介されました。



